

素直で礼儀正しい子（徳）たくましく学び合う子（知）明るく元気な子（体）



学校だより

雪小っ子

NO. 31

西市立雪浦小学校

校長 浅田 眞理

平成28年 9月29日 発行

平成28年度 地域通学合宿スタート！

通学合宿とは・・・

通学合宿とは、子供たちが家庭を離れ、異年齢集団で地域の公民館等に寝泊まりしながら学校に通うしくみです。

食事作りや掃除といった身の回りの日常生活に関する基本的なことは、サポーターの支援のもと、子供たちができるだけ自分たちで行います。特別なプログラムは必要なく、食事・掃除・入浴など日常生活そのものが通学合宿のプログラムとなります。

平成28年度 南島原市通学合宿モデル事業開催要項より

本校でも数年前から行われてきた『地域通学合宿』。しかし、いざ昨年度やってみると、「主催はどこ」「どんな目的でやるのか」「分担はどうするのか」「どんな支援をすればよいのか」等々、今まで理解してやっていたはずなのに様々な課題が噴出しました。

そこで昨年度、課題に対する改善案を一つ一つ準備し、保護者の皆様と確認していくことで今年度の実施にこぎ着けました。

目的は大きく二つ。一つは、「宿泊協働体験を通して、児童の自立を促し、相手を思いやる優しい心や自分の力で課題を乗り越えるたくましい心を育てること」、もう一つは、「地域の方々とのふれあいを通して、地域のよさを再認識させ、地域を愛する心を育てること」です。

今回は、28日（水）から30日（金）までの2泊3日で、4年生から6年生までの19人全員が参加して行われています。また、保護者の皆様のお力だけでなく、地域の方々（地域有志の皆様、婦人会の皆様、若手雪小OB・OGの皆様）のお力も多数お借りしながら昨日より活動が始まっています。本当にありがたいことですね。

ところで、今朝ほど、もらい湯に手を上げてくださった方とお話する機会がありました。「校長先生、昨年はお風呂に入るマナーに問題があったので、人様のおうちでのマナーについて話をさせてもらったのですが、今年はそのことをしっかり覚えていたのでしょうかね、みんな立派にできていましたよ。すばらしかったですよ」と・・・。こういったところも、普段自宅では体験できない生きた学びとなっているようです。もらい湯のあとの、その家の方とのふれあいも、とても貴重で、よい経験となっているようです。

地域通学合宿は、今日が2日目、明日の夕方まで行われます。19名の子供たちが、たくましく豊かな心（自立心・責任感・思いやり・規範意識・我慢する心）を身に付け、親への感謝を新たに、一段と成長することを期待しています。さらに、雪浦地区の地域ネットワークが更に充実していくことを切に願っています。

最後に、この事業に協力されているすべての皆様に感謝の意を表しますとともに、今後とも本校教育への御理解・御協力をよろしくお願い致します。

